

令和 6 年度

事業評価・主要施策成果報告書

豊 能 町

目 次

一般会計		3p
歳入の概要		8p
豊能町過疎地域持続的発展計画における目標値の進捗状況		14p
歳出（事業評価シート）		
議会事務局		17p
総務部	総合政策課	22p
	広報職員課	31p
	総務課	42p
	行財政課	59p
	税務課	67p
生活福祉部	福祉課・福祉相談支援室	71p
	住民人権課	84p
	保険課	91p
	健康増進課	102p
都市建設部	建設課（道路・河川）	121p
	建設課（都市計画）	133p
	農林商工課	145p
	環境課	163p
出納室		171p
吉川支所		172p
こども未来部	教育総務課	174p
	義務教育課	193p
	こども育成課	199p
	生涯学習課	206p
国民健康保険特別会計事業勘定		221p
国民健康保険特別会計診療所施設勘定		231p
後期高齢者医療特別会計		239p
介護保険特別会計事業勘定		247p

○事業評価とは

事業評価は、町が行っている様々な仕事（事業）について、年度ごとに内容を点検し、より良い事業とすることを目的とした「PDCA（※）」の取り組みです。事業評価では、事業の点検を行うだけでなく、事業にかかる課題を発見、特定し、改善案を考え、次の計画に活かすことを目的としています。これにより、限られた行政資源（ヒト、モノ、カネ）を有効に活用し、より良いサービスとすることを目指します。

（※PDCA…Plan（計画）、Do（実施・運用）、Check（検証・評価）、Action（見直し・改善）の頭文字をとったもので、「計画」から「見直し・改善」までを行い、さらにそれを次の「計画」に活かす仕組みのことを言います。）

○令和6年度の事業評価について

令和6年度は決算書に記載された全事業を対象として事業評価を実施しました。一般会計については大事業（同じ対象や意図をもった事業のまとまり）ごとに、特別会計については会計ごとにシートを作成し、構成する事務事業の内容、主な成果、課題整理、総合評価及び改善の方向性を記載しています。うち、課題整理は現状（昨年度に生じている）の課題、中長期（今後生じるとと思われる）の課題について、事業の進捗管理、内容、費用対効果の3つの視点で内容と要因を記載しています。この課題整理を受けて総合評価と改善の方向性を記載しています。

※構成事務事業の事業費について

- ・事業費は千円単位で記載しており、事業の合計額が決算書の額と異なる場合があります。
- ・前年度の決算額については、今年度と同じ事業を行っているもののみ記載しています。